

授業科目名	コンピュータ活用Ⅱ 3組	担当教員名	佐々木 淳				
科目ナンバリング		開講学期	春学期	単位数	2単位	配当年次	2年生

授業概要	この科目ではコンピュータ活用Ⅰで獲得したコンピュータリテラシーを基礎にして「社会で活用されているデータ」を扱い、Excelで表や簡単なグラフを作成するところから、より複雑なグラフ、統計学の知識を生かした分析まで学びます。データの読み取り、データの活用、データの扱いについて実習を行います。そして統計学の基礎を身につけ「社会で起きている変化」を分析できるようにすることを目標とします。履修に当たっては、コンピュータ活用Ⅰの単位を修得している、あるいはそれと同程度の能力を有することを条件とします。また、実習科目のため受講人数に関して制限を設けます。				
到達目標	①Excelを用いて、データを整理し、表やグラフを作成できるようになること。 ②データの読み取り、データを活用し、データを扱う能力を身につけること。 ③統計学の基礎知識を生かして、社会で活用されているデータの分析ができるようにすること。				
評価の方法と基準	評価方法	割合（％）	評価基準・その他備考		
	平常点	45	レポート等（詳細は1回目のガイダンスで紹介）		
	小テスト				
	レポート	55	授業時に指示する提出課題		
	定期試験				
	その他				
事前・事後学習	事後学習（復習）として、課題の提出が必要です。				
事前受講を推奨する科目	コンピュータ活用Ⅰ				
	統計入門（経済学部の学生）				
教科書	書籍名		著者	出版社	出版年
	『Excelで読み取る 経済データ分析』		橋本紀子	新世社	2013
参考書	書籍名		著者	出版社	出版年
備考	この授業は、大学のコンピュータ実習室での対面授業です。 受講には、コンピュータ実習室のコンピュータにログインする必要があります。				

授業の計画		
1	ガイダンスとExcelの復習	本科目のガイダンス。講義内容・評価方法等の説明 Excelの基本の復習。
2	Excelによる表の作成	データの探し方。表の作成。
3	棒グラフ	棒グラフの作成。大小関係の比較。
4	円グラフ	円グラフの作成。比率の比較。
5	折れ線グラフ	折れ線グラフの作成。時系列データの変化を見る。
6	積み上げ棒グラフ	積み上げ棒グラフの作成。項目ごとの値とその比率を見る。
7	複合グラフ	複合グラフの作成。パレート図を描く。重要項目の洗い出し。
8	ヒストグラム	度数分布表。ヒストグラム。データ分布の把握。
9	データのばらつき	標準偏差と変動係数。
10	データのばらつきの視覚化	箱ひげ図の作成。
11	2つの変数の関係	散布図。相関係数。
12	不均等度をとらえる	ローレンツ曲線。ジニ係数。
13	応用 1	データから経済を見る 1。 社会で起きている変化の分析、社会で活用されているデータの活用
14	応用 2	データから経済を見る 2。 社会で起きている変化の分析、社会で活用されているデータの活用
15	まとめ	まとめ。